

“猛暑商戦、県内も熱気



クーラー、男性用日傘も好調

飲料やアイス、販売10%増

連日の猛暑で、飲料水や日傘など暑さをしのぐ商品の売れ行きが好調だ。熱中症対策グッズは品薄状態で、家電量販店のクーラー売り場は連日にぎわっている。暑さで外出を控える傾向が強まる中、猛暑日限定で商品割引などの特典を設ける店も出ており、猛暑需要の取り込みを狙う。

(鈴木隆宏、河合修)

岐阜高島屋(岐阜市日ノ出町)2階の婦人洋品売り場では、女性用日傘の売れ行きが伸びている。例年の販売ピークは春から初夏だが、今年は7月中旬以降で多い日に数十本を販売。品薄だった男性用の日傘も急ぎよ取り寄せた。「すぐに日傘を使いたいという購入客が多い」と話す。

18日からは猛暑日に店内で1080円以上買い物した傘の販売コーナー。裏地が黒の日傘など目差しをしっかりと遮る商品の人気が高い。岐阜市日ノ出町、岐阜高島屋

た先着100人にミネラルウォーターのペットボトル1本を無料で提供。午前10時のオープンから1時間以内に配布が終わる日もあるという。夏場は来店客が減る傾向にあり、担当者は「少しでも来店増につなげたい」と期待を込める。

ヤマダ電機家電住まい館岐阜本店(同市藪田南)は、夕方になるとクーラー

売り場は大勢の客が詰め掛けている。猛暑でクーラーの利用時間が長いため、高性能で省エネの製品を求める声が多いという。担当者は「暑すぎで部屋が冷えず、クーラーが故障したのでは」という問い合わせも多い」と話す。

県内外に243店舗を置くスーパーマーケットのパローは、飲料やアイスなどの販売が例年より10%近く増えた。バローグループのドラッグストアのVドラッグでは、首を冷やす冷却タオルなど熱中症対策グッズが品切れ状態。一方、連日

の好天で蚊の発生が少なくなり、虫よけや殺虫剤の売れ行きは鈍っているという。

炎天下に歩くのを避けるため、タクシーの利用も増

加傾向にある。日の丸自動車(同市市ノ坪町)の担当者「普段はタクシーに乗らないのに、この暑さで利用したと話す乗客の声を聞く」と話す。